

3年

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	1 深まる学びへ			
4月	握手 4時間 ◎作品中の表現や、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。 ◎登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見を持ち、作品を批評する。 ★小説を読んで批評する。 ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。	1 2-3 4	1 作品を通読し、人物どうしの関係や置かれた状況を確認する。 2 会話文の言葉やエピソードに着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。(学習2) 3 作品のよさや特徴について、自分の考えを書く。(学習3) 4 学習を振り返る。 漢p30「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【関】 作品を読み、そのよさや特徴について、自分の考えを深めようとしている。 【読】 ・作品の表現に即して、人物像を読み取っている。 支 どういうところが特に心に残ったか友達と意見を交流することで、自分なりの観点に気づかせる。 【言】 作品に使われている言葉の意味を調べたり、比喩表現に着目したりして、作品を読み深めている。 【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
4月	世界はうつくしいと 2時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1 2	1 詩を通読する。 ◇読むスピードや音量、読む人数などを変えて、詩を複数回朗読させる。詩の内容を考えながら句点で句切りながら交替で音読するのもよい。 2 詩を読み深める。 ・詩を読んで感じた素朴な疑問を質問の形にして書き出す。 ◇言葉・文字の使い方・リズム・表現技法などに着目させるとよい。 ・隣どうして質問し合い、お互いに相手の質問について考えたことを伝える。それを踏まえて、自分なりの答えを考える。 ・自分にとっての「うつくしいもの」を考え、グループで交流する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。 ・自分なりの解釈を踏まえて、詩をもう一度朗読し、最初に読んだときと比べて、詩に対する印象はどのように変わったか、自分の言葉でまとめる。	知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) →詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 【態】 進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5月	学びて時に之を習ふ ——「論語」から 2時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1-2	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 「論語」という作品について知る。 - 教材冒頭の解説とP30の出典を読む。 ◇国語便覧や社会科資料集などを使って、孔子が生きた時代の歴史的背景などを確認させる。 2 「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 - 教材の書き下し文や訓読文を、漢文の言い回しに注意して、繰り返し朗読する。 ◇必要に応じて訓読の方法や返り点の種類などを確認させる。 →DVD・二次元コード →P31「漢文の訓読」 - 脚注を参考にして現代語訳を作り、孔子の考え方を読み取る。 ◇生徒の実態に応じて、現代語訳を配布したり、現代語訳作りを家庭学習にしたりしてもよい。 3 日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。 ◇「論語」の他の章句も現代語訳を付けて紹介し、選択肢を増やすとよい。 4 学習を振り返る。 ・「論語」の中から、自分たちの生活に生かしていきたい言葉を選び、伝え合う。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) →教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
5月	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける ◎話題を決めて、情報を集める。 ◎話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。 ★時間や場の条件に合わせてスピーチをする。	1 2-3 4	1 スピーチの話題を考える。 2 スピーチの相手と目的を考える。 3 スピーチの内容と構成を考える。 ・ 4 スピーチをする。→CD 5 スピーチを振り返って話し合う。 6 学習を振り返る。	【関】話題に沿って相手にわかりやすく話をしようとしている。 【話聞】・自分の体験や知識を基にスピーチの話題を決めている。 ・場面や目的、相手に合った話し方をしている。 支 重点的に伝えたい内容を確認させ、相手によってどのように言葉遣いを変えたほうがよいか意見を交流させる。 【言】声の調子や敬語の使い方に注意して話している。
5月	2 視野を広げて			
5月	練習 文章の形態を選んで書く 1時間 ◎文章の形態の特徴を知り、それぞれの形態の特徴を踏まえた表現の工夫をする。	1	1 教材文「体育祭での出来事を、さまざまな形態で表現した例」を参考に、それぞれの形態の特徴について知る。 2 文章の形態の特徴に注意して文章を書く。	【関】日常を振り返り、進んで文章を書こうとしている。 【書】文章の形態の特徴を踏まえた表現の工夫をしている。 支 p53「上達のポイント」に示されている観点に基づいて書く内容をまとめさせる。 【言】選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。
6月	3 言葉を見つめる			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	俳句の可能性 俳句を味わう 3時間 ◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。 ★表現のしかたを工夫して、俳句を作る。	1 2 3	1 全文を通読し、俳句の特色などを知るとともに、五句それぞれに込められた心情や情景を想像する。 2 p70「俳句を味わう」に紹介されている俳句について、それぞれの俳句に表現されている心情や情景などを捉え、朗読する。 3 俳句を作る。 4 学習を振り返る。	【関】 俳句の形式に興味をもち、表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。 【読】 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 支 「有季定型」の基本を確認させ、「歳時記」や解説文を参考に、自分の感じたことを述べさせる。 【書】 語順や表現のしかたに注意して、自分の思いや感動を俳句に表現している。 支 語順を入れ替えたり別の表現に置き換えたりしてみるよう助言する。 【言】 語句の効果的な使い方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	言葉を選ぼう 1時間 ◎時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ、その違いを理解するとともに、調べた内容について相手にわかりやすい説明になるように構成を工夫して書く。	1 2 3	1 教材文を通読し、言葉の性質について知る。 2 日常生活の中で、世代間で意味や使い方が異なる言葉や限られた世代だけが使っていると思われる言葉を探す。 3 探した言葉について、短作文を書く。 4 学習を振り返る。 世代によって使われ方が違う言葉にはどんなものがあったか。	【関】 言葉の性質について理解を深めようとしている。 【書】 日常の言語生活を振り返り、調べた内容をわかりやすく説明する工夫をしている。 支 調べた言葉について、具体的な使用場面を想定させる。 【言】 時代による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解している。 支 国語辞典で言葉の本来の意味や使い方を調べさせる。
7月	「批評」の言葉をつめる 2時間 ◎文脈における語句の意味に気をつけながら「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	1 2 3	1 全文を通読し、筆者の考えを読み取る。 2 筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 ・「批評する言葉」をためていくために気をつけることを、本文を参考にしながら考えを出し合う。 3 学習を振り返る。	【関】 進んで文章を読み、内容を理解しようとしている。 【読】 文脈における語句の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え自分の考えを深めている。 支 小見出しを参考に、まとまりごとの大事な内容を押さえさせる。 【言】 抽象的な言葉の意味を捉えている。
7月	読書生活を豊かに			
7月	高瀬舟 未来の私にお薦めの本 読書案内 読書コラム ためになるってどんなこと？ 2時間 ◎目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて、自分の考えを広げたり深めたりする。(読(1)ア・イ・エ・オ) ★自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える。(読(2)ウ)	1 2 3	1 読書教材「高瀬舟」を読み、近代文学の表現を味わったり、感想を交流したりする。 ・。 2 「未来の私にお薦めの本」を読み、自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析する。 3 分析結果を参考に、これから読んでみたい分野や作家を読書ノートに書き出す。 4 学習を振り返る。	【関】 自分の読書生活に関心をもち、読書について話し合ったり、読書の幅を広げたりしようとしている。 【読】 表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。 支 これまでの読書経験で得たものや、今興味をもっていることなどを出させ、読書案内などを参考に、これからの読書生活を考えさせる。 【言】 難しい語句や表現について理解しながら読んでいる。
9月	挨拶—原爆の写真によせて ◎比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。 ◎詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	故郷 5時間 ◎表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。 ◎時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。 ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。	1 2-4 5	1 作品を通読し、場面設定や登場人物の人物像、人間関係を確認する。 2 場面や登場人物の設定に着目し、登場人物の心情や関係の変化を読み取る。 3 作品から、時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて考え、自分の意見をもつ。 4 学習を振り返る。 漢p122「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【関】 作品を読み、人と人との関わりについて考えようとしている。 【読】 ・場面や登場人物の設定を表す語句や表現に着目し、登場人物の心情を読み取っている。 ・時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて、自分の考えをもっている。 支 自分自身のこれまでの経験を振り返らせ、考え方や友人関係において変化したことやそうでないことに気づかせる。 【言】 作品中の漢語表現に注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
9月	練習 推敲して文章を整える ◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。	1	1 これまでの学習を振り返り、推敲することの意義を確認する。 2 課題文を推敲し、読みやすくわかりやすい文章にする観点を押さえる。	【関】 文章を推敲してよりよいものにしようとしている。 【書】 示された観点に沿って文章を見直し、文章全体を整えている。 支 文章の中から意味の通らないところやわかりにくいところを指摘させ、推敲すべき部分に気づかせる。 【言】 漢字や語句を正しく使っている。
10月	新聞の社説を比較して読もう 3時間 ◎社説を読み、主張や論理の展開、表現のしかたを捉える。 ◎一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。 ○構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。 ★論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む。	1-2 3	1 社説を読み、話題を確かめる。 2 二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価する。 3 論理の展開を工夫して意見文を書く。 4 学習を振り返る。	【関】 二つの社説を読み、主張や論理の展開の違いに目を向けようとしている。 【読】 ・構成や展開、表現のしかたなど観点に沿ってまとめている。 ・内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 支 p126学習の窓「論説を比較し評価する」を参考に、複数の論を比較し評価するときの観点をもたせる。 【書】 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている。 支 内容が決まらないときは、どちらの社説の主張に自分の考えが近いのか考えさせる。 【言】 新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている。
10月	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 1時間 ◎慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	1	1 導入の例から、一まとまりで決まった意味をもつ言葉に興味をもつ。 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	【関】 慣用句・ことわざ・故事成語について理解しようとしている。 【言】 慣用句・ことわざ・故事成語を調べ、知識の幅を広げている。 支 慣用句を使った短文を交流したり、調べたことわざや故事成語を使う場面を考えさせたりする。
10月	漢字2 漢字の造語力 1時間 ◎漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。	1	1 導入の文章を読み、新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	【関】 漢字を組み合わせでできる造語に興味をもとうとしている。 【言】 漢字の造語力について理解している。 支 漢字の造語例を読ませ、その語のでき方を説明する。
	季節のしおり 秋		・秋の季語や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
5	いにしへの心と語らう			
10月	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
10月	君待つと ―万葉・古今・新古今 2時間 ◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。 ◎歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。	1 2	1 和歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。 2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌を比較し、和歌に表れた作者の心情や情景を想像して、感じたことを話し合う。 3 心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。 4 学習を振り返る。	【関】 それぞれの和歌集に興味をもち、和歌に表れた古人の心情や情景について現代語訳を基に想像しようとしている。 【読】 ・和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み、感想をもっている。 ・脚注を参考にしながら古人の心情や情景を読み取り、和歌に対して自分の考えをもっている。 支 p145「和歌の表現技法」を読ませ、自分の選んだ和歌にある表現技法に気づかせる。 【言】 現代語訳や脚注、出典欄などを基に、歴史的な背景に注意して和歌を読んでいる。
10月	夏草 ―「おくのほそ道」から 4時間 ◎古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。 ◎歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。 ○古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、文章の形態を工夫してメッセージを書き、読み合う。	1 2-3 4	1 地の文と俳句の組み合わせによる構成の効果を踏まえ、芭蕉の思いを想像しながら、全文を声に出して読む。 2 全文を読み、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 3 本文中の四つの俳句から、自分の心に響く俳句を一句選び、その理由などについて述べる。 4 古典の言葉を選び、贈る相手と目的、文章の形態を選択してメッセージを書く。 5 学習を振り返る。 見方や感じ方を捉えたか。	【関】 俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。 【読】 ・作品の表現のしかたや文体の特徴に着目しながら読んでいる。 ・芭蕉の感じたことを踏まえながら、選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。 支 「おくのほそ道」の現代語訳や脚注を読ませ、芭蕉の考えを想像させる。 【書】 ・メッセージにふさわしい文章の形態を選択し、相手を意識した文章を書いている。 支 今までの古典の学習を振り返らせ、現代語訳も参考にしながら気に入った言葉を選ばせる。 【言】 歴史的背景を踏まえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。
10月	古典を心の中に 1時間 ◎古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。	1	1 本文を通読する。 ・古典を通して、人と出会い、さまざまな世界を体験できることを知る。 ◇ p 256  「古典・近代文学の名作」の古典作品に触れながら読む。	【関】 古典のさまざまな作品に関心をもとうとしている。 【読】 古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。 支 既習の古典作品の中に織り込まれている具体例を示す。 【言】 古典の知識に触れ、その世界に親しんでいる。
	6 論旨を捉えて			
11月	作られた「物語」を超えて 4時間 ◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。 ◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。 ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
11月	練習 話し合いを効果的に進める ◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。	1	1 「卒業文集のテーマの設定」の話し合いの例を聞き、参加者として話し合いの進め方について提案する。	【関】話し合いの進め方などについて考えようとしている。 【話聞】話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 支 「テーマ設定のしかた」「テーマの内容そのもの」「伝える方法」など、それぞれの発言内容を整理させ、制作委員になったつもりで考えさせる。 【言】話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。
11月	話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く 5時間 ◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。◎話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。 ★社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う。	1 2-4 5	1 課題を見つける。 2 グループで具体的な提案を考える。 3 全体会議を開く。 4 話し合いを振り返る。 5 学習を振り返る。	【関】自分が取り組みたい課題を考えようとしている。 【話聞】・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 ・観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。 支 取り上げたい課題と、なぜそれを取り上げたいのか根拠を考えさせる。 【言】話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。
12月	練習 観点を立てて分析する 1時間 ◎社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考えを深める。 ★関心のある事柄について批評する文章を書く。	1	1 広告例を表に沿って分析し、友達と比べる。 ・三つの観点に沿って分析する。 2 挙げられている例を評価する場合の観点を考える。 ◇「上達のポイント」を確認する。 ◇p14「続けてみよう」の『私の評価』メモの観点を参考にする。	【関】進んで課題に取り組み、観点を立てて分析しようとしている。 【書】挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。 支 小説やテレビの報道番組を作っている要素を挙げさせる。 【言】批評するときの言葉を使っている。
12月	説得力のある文章を書こう 批評文を書く 5時間 ◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ◎論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合っものの見方を深める。 ★関心のある事柄について批評する文章を書く。	1 2-4 5	1 批評文について知る。 2 関心のある事柄を選ぶ。 3 観点を立てて分析する。 4 論理の展開を考える。 5 下書きをして文章にまとめる。 6 文章を読み合い、考えを深める。 7 学習を振り返る。	【関】社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書こうとしている。 【書】・分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 ・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。 支 「分析の観点」「表現のしかた」など、文章を読み合うときの観点をあらかじめ提示しておく。 【言】自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けている。
12月	初恋 1時間 ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。	1	1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・七五調の文語定型詩という詩の形式を踏まえる。 2 語句や表現に込められた意味を読み取る。 ・「恋」をキーワードに各連を読み取る。 3 自分の意見をもち、発表し合う。 ・今の自分の状況と照らし合わせたり、想像を広げたりしながら作品を読み深める。	【関】進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。 【読】表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、自分の状況と照らし合わせながら説明している。 支 現代語訳を示し、各連の大意を読み取らせる。 【言】文語特有の表現を味わい、語感を磨いている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	エルサルバドルの少女 ヘスース 読書コラム 読書記録をつける 読書案内 1時間 ◎目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。(読(1)エ・オ) ★自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える。 (読(2)ウ)	1	1 読書教材「エルサルバドルの少女 ヘスース」を読み、ヘスースの生き方や考え方、筆者の写真や取材のしかたについて、心引かれる部分を話し合う。 2 読書コラム「読書記録をつける」を読み、読書を記録することについて考える。 3 教科書の読書案内を参考にしながら、これから読んでみたい分野や作家を挙げさせる。	【関】 自分の読書生活に関心をもち、読書について話し合ったり本の幅を広げたりしようとしている。 【読】 ヘスースの生き方などに着目して読み、人間の生き方や社会の在り方について考えている。 支 写真や注などを示しながら、内戦の中でたくましく生きるヘスースの姿を捉えさせる。 【言】 比喩など、特徴的な表現に着目し、語感を磨いている。
12月	季節のしおり 冬		・冬の季語や、冬の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
7 未来へ向かって				
1月	誰かの代わりに 5時間 ◎現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見をもつ。 ◎文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。	1 2-3 4-5	1 全文を通読する。 ・本文を読んで気になったところや共感したところを話し合う。 2 抽象的な語句に着目して読みを深める。 3 論理の展開を押さえる。 4 現代社会や生き方に対する自分の考えをもち、話し合う。 5 学習を振り返る。	【関】 現代社会の特徴を知り、可能性や困難、自分の生き方について考えようとしている。 【読】 ・筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ・抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。 支 どの言葉がどう言い換えられているかキーワードを一つ一つ説明したり、英単語との比較に着目させたりする。 【言】 文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている。
2月	わたしを束ねないで 3時間 ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもつ。	1-2 3	1 詩を通読し、特徴的な言葉や表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。 2 詩に込められた作者の思いを読み取り、その思いを自分と照らし合わせて考え、自分の意見をもつ。 3 これからの自分の可能性について考えをまとめ、グループで交流する。 4 学習を振り返る。	【関】 表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。 【読】 詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもっている。 支 自分だったらどんな比喩にするかを述べさせることで、自分の可能性について考えさせる。 【言】 語感を磨き語彙を豊かにしている。
2月	漢字3 漢字のまとめ 2時間 ◎2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。	1-2	1 練習問題に取り組む。 ・三年間の漢字の総まとめとして、漢字の意味や読み方などについて調べ、適切に使い慣れる。	【関】 問題に取り組み、漢字への理解を深めようとしている。 【言】 漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組み、おおむね理解している。
3月	三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う 6時間 ◎三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。 ◎自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合ってももの見方や考え方を深める。	1 2-4 5-6	1 三年間の学習を振り返る。 2 学習を整理し、冊子にまとめる。 3 編集後記を書く。 4 発表会をする。 5 学習を振り返る。	【関】 中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。 【書】 三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 支 伝えたいことを決めさせ、時系列で素材を並べさせ、一つ一つにコメントを書かせる。 【話聞】 冊子の内容を生かして発表し、評価し合ってももの表現に役立てたり、ものの見方や考え方を深めたりしている。 支 友達の発表を聞く際には、自分の発表との違いをメモさせ、今後の自分の学習について考えさせる。 【言】 適切な言葉を選び、友達の作品を評価している。